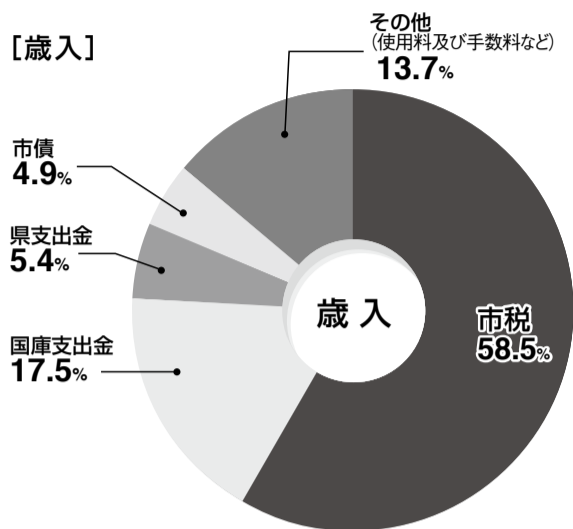


# 平成23年度当初予算のあらまし

## 一般会計

単位:千円

### [歳入]

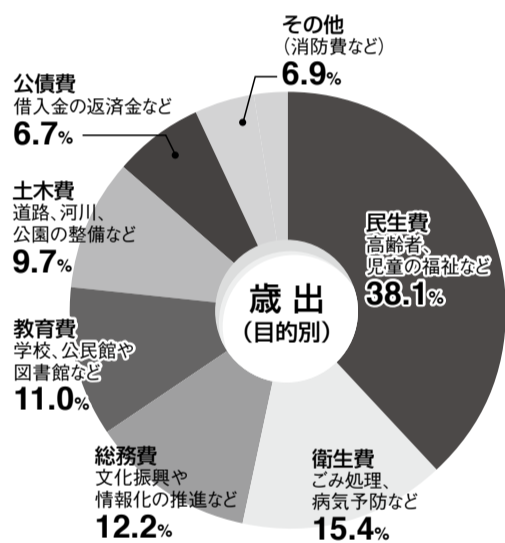


	平成23年度	平成22年度	増減額
<b>総額</b>	<b>132,600,000</b>	126,800,000	5,800,000
1. 市税	77,626,000	74,658,000	2,968,000
2. 国庫支出金	23,245,837	19,903,928	3,341,909
3. 県支出金	7,141,152	6,966,544	174,608
4. 市債	6,421,700	7,908,000	▲1,486,300
5. その他	18,165,311	17,363,528	801,783

- 市税では、市民税で前年度比4.2%増の397億1,000万円、固定資産税で3.8%増の278億2,400万円など全体で4.0%の増額を見込んでいます。
- 国庫支出金及び県支出金では、子ども手当や生活保護費の財源である国や県からの負担金等による増額を見込んでいます。
- 市債では、財源対策として発行している臨時財政対策債の減により減額を見込んでいます。

### [歳出]

#### 目的別構成比

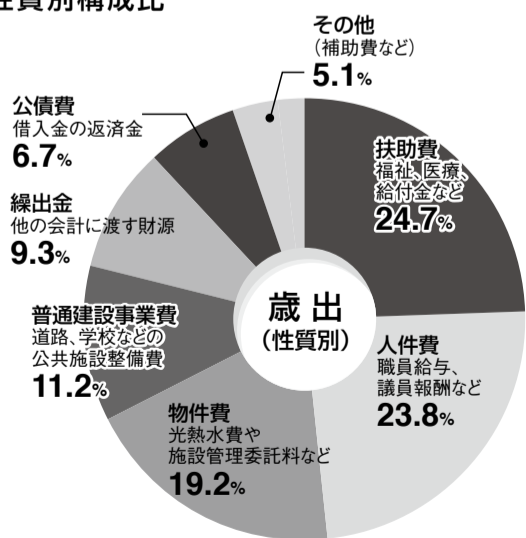


	平成23年度	平成22年度	増減額
<b>総額</b>	<b>132,600,000</b>	126,800,000	5,800,000
1. 民生費	50,549,000	46,486,000	4,063,000
2. 衛生費	20,421,000	19,096,000	1,325,000
3. 総務費	16,188,000	16,458,000	▲270,000
4. 教育費	14,571,000	15,363,000	▲792,000
5. 土木費	12,852,000	12,265,000	587,000
6. 公債費	8,908,000	8,861,000	47,000
7. その他	9,111,000	8,271,000	840,000

- 民生費では、子ども医療費の助成対象拡大や家庭保育員(ファミリーママ)の増員等から増額となっています。
- 衛生費では、クリーンセンターを延命化するための改修工事を行うことや、新たに子宮頸がんやヒブワクチン等の予防接種委託料を計上したこと等から増額となっています。
- 教育費では、小中学校の耐震補強工事が事業の計画的な進捗により、前年度の15棟から10棟に減少すること等から減額となっています。
- 土木費では、本八幡北口地区再開発事業や都市計画道路3・4・18号整備事業の進捗に伴い増額となっています。
- その他では、新・北消防署の新築工事、新たに実施するプレミアム商品券発行に対する補助金の計上等により増額となっています。

### [歳出]

#### 性質別構成比



	平成23年度	平成22年度	増減額
<b>総額</b>	<b>132,600,000</b>	126,800,000	5,800,000
1. 扶助費	32,727,962	28,488,874	4,239,088
2. 人件費	31,533,578	31,636,307	▲102,729
3. 物件費	25,410,185	24,683,981	726,204
4. 普通建設事業費	14,823,124	14,412,269	410,855
5. 繰出金	12,377,681	9,678,312	2,699,369
6. 公債費	8,903,184	8,856,171	47,013
7. その他	6,824,286	9,044,086	▲2,219,800

- 扶助費では、子ども手当や生活保護費、障害のある方への自立支援給付費の増加等により増額となっています。
- 人件費では、退職者数の増加に伴い退職手当が増額となるものの、定員適正化計画による職員数の減や給与改定等により減額となっています。
- 物件費では、予防接種委託料や住民基本台帳法の改正に伴うシステム改修費用の増加等により増額となっています。
- 普通建設事業費では、本八幡北口地区再開発事業や都市計画道路3・4・18号整備事業、クリーンセンター延命化事業等の進捗により増額となっています。
- 繰出金では、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計の保険給付費等の増加に伴い、増額となっています。

市川市の財政についての詳しい内容は市のホームページでも公開しています。

※市の財政について、ご意見・ご提案をお聞かせください。

**ホームページ**

市トップページ ▶ 市政情報 ▶ 市の組織 ▶ 財政部 ▶ 財政課  
☎ 334-1110 FAX 336-8033 財政課